学校番号	412

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	大学入学共通テスト対策問題集　情報Ⅰ　（啓林館出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報Ⅰの範囲の演習問題・プログラミングなどを実施します。
大学入学共通テストにも対応できる、高度で幅広い力をつけましょう。

2　学習の到達目標

・効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
・様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え，複数の情報を結びつけて新たな意味を見出す力や，問題の発見･解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。
・情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与しようとする態度等を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コンピュータの仕組みや特徴､アルゴリズム､ネットワークの仕組みを理解し、それらを活用する技能を身につける。	様々な問題・課題を発見し、目的に応じてモデル化やシミュレーションを適切に行い、適切な解決方法を考える。	情報社会とのかかわりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	コンピュータとデジタル化	・コンピュータの構成 ・デジタル化と演算 ・メディアのデジタル化	a：論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。 b：2進数・10進数・16進数を用い，目的に応じて適切に情報量を表現できる。 c：数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を，主体的かつ適切に取り扱おうとしている。	テスト 成果物	テスト 成果物	ワークシート
	データの活用	・データの収集と分析 ・シミュレーション	a：クロス集計，相関係数を用いた分析，回帰分析を行うことができる。 b：問題解決の目的に応じて，データ分析の手法を適切に選択し，分析結果を効果的に表現する力がある。 c：具体的な事象のシミュレーションに関心をもち，シミュレーションを用いた問題解決を意欲的に取り組む。	テスト 成果物	テスト 成果物	ワークシート
2学期	プログラミング	・アルゴリズム ・プログラミング	a：変数や配列を使用して選択構造や反復構造のプログラムを作成することができる。 b：データ量と計算量の変化からアルゴリズムを評価し，適切なアルゴリズムを選択することができる。 c：問題解決のためのアルゴリズムを考え，粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。	テスト 成果物	テスト 成果物	ワークシート

	情報通信ネットワーク	・ネットワーク ・セキュリティ	a: IP アドレス，ドメイン名，ルーティングの基本的な仕組みや働きについて説明することができる。 b: マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し，対処することができる。 c: 暗号化などの理解のもと，安全に情報を送受信するための仕組みを実際に活用しようとしている。	テスト	テスト	ワークシート
3学期	情報社会の問題解決	・問題解決と法規	a: 著作権の例外規定や著作物の利用条件に従って，著作物を適切に利用することができる。 b: 問題発見のための現状分析の方法を考え，適切に選択できる。 c: 試行錯誤しながら，粘り強く問題の発見・解決に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度